

加藤内閣府特命担当大臣挨拶

(平成28年9月2日 障害者差別解消地域フォーラム(神奈川県))

みなさんこんにちは。ご紹介いただきました、内閣府特命担当大臣を務めております、加藤勝信です。

今日は、神奈川県と私ども内閣府が共催する「障害を理由とする差別の解消に向けた地域フォーラム」に、多くの皆様方にご出席いただきましたことを、改めてお礼を申し上げたいと思います。

また今、黒岩知事からもありました、先般、何の罪もない多くの障害者の方々がその尊い命を奪われるという事件がありました。

お亡くなりになられた方々にそのご冥福を、そしてご遺族の方々にお悔やみを申し上げますとともに、まだ病院におられる方もいらっしゃるということですが、お怪我をされた方々の一日も早い回復を心からお祈り申し上げたいと思います。

また私も先日献花をさせていただくために、津久井やまゆり園の方へ伺わせていただきました。

献花にあわせ、施設の現状についてお話を伺い、また一部の施設の視察をさせていただいたところです。

事件からの心の傷がまだまだ癒されない中であっても、職員の方々をはじめとして皆さん方がまさにこの園を再生していくことが、今回の事件を乗り越えていくことにつながっていくという思いの中で取り組んでおられます。一日も早く元の姿になってほしいと、強く思ったところです。

今回の事件を通じて、障害のある方々、あるいは家族の方々、また関係者の方は、心の耐え難い傷を負われているわけであります。さらに様々な不安も感じておられると思います。

特に、被疑者から障害者の存在を否定するような発言があったという報道もございます。そうした発言は、我々は断じて許すことができない。容認することはできない。このことをはっきりとおかなければならない、と思います。すべての命は、等しく尊く、かけがえのない存在でもありません。

また、障害者の皆さん方が一緒になって頑張っておられる姿は、私共にとっては、一緒に励まし、励まされることも多くあります。

内閣府でも障害者施策をいろいろと進めさせていただいていますが、全ての方々が、障害の有無にかかわらず、お互いを尊重し合い、そして支え合っていくというまさに共生社会の実現は、今私共が進めていこうとしている一億総活躍社会そのものの実現にも繋がっていくと思っております。

そのような意味からも障害に対して、あるいは障害を抱える方々に対して、国民の皆さん方がしっかり関心を持ち、理解をしていただけるように広報啓発活動も含めて具体的な取組をこれからも一つ一つ取り組ませていただきたいと思います。

今回のフォーラムは、4月から障害者差別解消法が施行されたところで、ちょうどその内容について、これからいろいろなお話があると承知していますが、是非、理解を深めていただきながらその円滑な施行、具体的にこの法律が皆さん方の生活の中に溶け込んでいただけるような、そしてそのような取組を促進していく、さらには障害者に対する差別や合理的配慮が行われないことがないようにしていかなければいけない、乗り越えていかなければいけません。そのためにも、是非そのような機運を醸成していくことにもこのフォーラムが繋がっていただくことを強く期待をしております。

最後になりましたが、このようなフォーラムを、神奈川県において共催いただきましたことを、改めて感謝申し上げ、今申し上げた目的が十分に達成されますことをお願い申し上げて、私からのご挨拶とさせていただきます。

今日のご出席ありがとうございます。